

## 「2017（平成 29）年度 2 回生進級時アンケート報告書」について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2017 年 12 月 11 日）

「2017（平成 29）年度 2 回生進級時アンケート報告書」21 ページには「この設問では 1 回生の年間取得単位数を調査した。文系学部では 60 単位以上を取得した学生が 50%、理系学部では 60%以上もあり、1 回生で過剰な単位を取得することが常態化していると言える。本学の多くの学部で卒業要件となっている 138～156 単位（大学設置基準では 124 単位）と比較して、本学の 1 回生は明らかに単位の取り過ぎ状態にある。これは単位の実質化の要請からも、また標準修業年数 4 年という教育体系から見ても異常な状態であり、早急に改善するための対策を取る必要がある。」とあります。

しかし、多くの学部において、1 回生で履修する科目は主に全学共通科目であり、それと 2 回生以降増えていく専門科目とを比較すると専門科目の方が合格難易度が高いように考えられます。また、特に理系については回生が上がるにしたがって実験系の科目（1 コマあたり 1 単位）が増え、さらに一年間に多くの単位を取ることが困難になってきます。したがって、1 回生で取得すべき単位とそれ以上の回生で取得すべき単位とを単純に数字で比較することは適当でないと考えます。

このことと、単位を取ることができなかった場合のリスクとを考慮すれば、1 回生の間に多めに単位を履修することは合理的であり、「異常な状態」ではないと考えられます。

以上のことを踏まえ、国際高等教育院の方々には、各学部教務と連携し、各学部・各学科/学系の学生の立場に立ち、真面目に考えていただきますようよろしくお願いいたします。

【回答】（回答日：2017 年 12 月 21 日）

（国際高等教育院）

ご意見、有難うございました。あなたは大学 4 年間の学修について、計画性をもって臨んでおられる様子であり、喜ばしいことと思います。

ご指摘のように、各学部が、教養・共通教育科目、専門基礎科目、専門科目を各年次に配置しており、そのカリキュラムに沿って、着実に単位を取得して卒業に至ることが必要です。学生のみなさんには、ご自身の学部・学科・コースにおいて各学年で何単位を取得すればよいかを、早い時期から調べておくことを期待したいと思います。

また同時に、1 単位を取得するには所定の学修時間が課せられていることもお考えください。取得単位数が多ければ良い、合格科目数が多ければよく勉強したということでは

なく、一つ一つの科目の内容を学習し、理解し、身に付いたかが重要です。そのためには、授業時間のみならず、予習・復習・課題レポート等にかかる授業時間外の学修時間が求められます。この時間を確保するためには、1日に履修する科目数を平均で3つ程度までにすることが望ましいと考えられます。アンケート報告書は、そのような教育上の観点から学修行動全体として適切な取得単位数を述べたものです。4年間の大学生活でしっかりと勉強した、社会で活躍するための基礎能力が身に付いたら、あなたが満足感をもって大学を卒業できるよう、どうぞ頑張ってください。